

別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

注: 本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
牧之原市	牧之原地区	令和4年3月1日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	681.9 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	531.9 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	153.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	57.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	14.9 ha

注1: ③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
注2: ④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
注3: アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
注4: プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

牧之原台地に広がる本地区は、そのほとんどの農地で基幹産業の茶が栽培されている。県営畑地帯総合整備事業によりかんがい施設の整備が進められ、農道、防霜施設の設置なども積極的に実施されており、生産性の高い集団的農地が形成されている。 乗用型摘採機や管理機等の導入が進み、認定農業者等への農地の集積・集約も進みつつあるが、早場所に比べ摘採時期が遅いことから、用途を限定した効率な栽培を導入するため、更なる集約・大規模化が必要となる。 また、交通の要所となっている同地区は、今後、大規模な商業施設開発や住宅の誘致などが計画されており、牧之原茶園の景観の保持と総合的な土地利用が求められている。

注: 「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

(1) 茶については、中心経営体の耕作地マップを作成し、可視化して経営体同士での耕作地についての話合いを行い、可能な部分から、農地の集積・集約を推進する。
(2) 用途を限定した栽培方法等、積極的なゾーニングを推進するため、交換や借地の借り換えなど、担い手による再集約を推進する。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【農地中間管理機構の活用方針】

経営の拡大を図る中心経営体の認定農業者や法人に対し、農地中間管理機構を活用して、農地の流動化を促進する。

将来的に中心経営体が営農継続が困難になった場合には、農地が荒廃化する前に農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への貸し替えを進めていく。

【基盤整備への取組方針】

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化や既存の老朽化した用排水路等の更新を検討していく。

【茶生産方針の転換】

ドリンク原料など需要に応じた茶生産の転換に取り組むとともに、その生産過程の違いから生じる農薬のドリフトに対するゾーニングやその決まり事を検討していく。

【地域農業環境の保全活動】

優良な農環境を維持するため、多面的機能支払交付金制度を活用した「グリーンネット牧之原」や「平城グリーン活動組織」を中心に農地の保全管理に取り組むとともに、認定農業者等の地域農業者の意識を高める。

【鳥獣被害防止対策の取組方針】

有害鳥獣被害が減少してきた地区であるが、隣接地区では被害が発生している。今後、被害が増加する場合は、国や市の補助制度を活用し、電気柵などによる防除に努める。

(留意事項)

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農		茶	191 a	茶	191 a	牧之原
認農		茶	7 a	茶	7 a	牧之原
認農		茶	984 a	茶	1,181 a	牧之原
認農		茶	415 a	茶	457 a	牧之原
認農		茶	352 a	茶	387 a	牧之原
認農		茶	263 a	茶	316 a	牧之原
認農		茶	86 a	茶	95 a	牧之原
認農		茶	316 a	茶	379 a	牧之原
認農		茶	315 a	茶	378 a	牧之原
認農		茶	513 a	茶	564 a	牧之原
認農法		茶	183 a	茶	220 a	牧之原
認農法		茶	324 a	茶	389 a	牧之原
認農		茶	271 a	茶	325 a	牧之原
認農		茶・いちご・メロン	204 a	茶・いちご・メロン	224 a	牧之原
認農		茶・さといも・さつまいも	72 a	茶・さといも・さつまいも	79 a	牧之原
認農		茶・白ネギ	332 a	茶・白ネギ	365 a	牧之原
認農		茶	323 a	茶	388 a	牧之原
認農		茶・レタス	578 a	茶・レタス	578 a	牧之原
認農		茶・レタス・水稻	53 a	茶・レタス・水稻	58 a	牧之原
認農		茶・水稻	230 a	茶・水稻	253 a	牧之原
認農		茶(共同)・レタス・水稻	121 a	茶(共同)・レタス・水稻	133 a	牧之原
認農		茶・レタス・水稻	64 a	茶・レタス・水稻	77 a	牧之原
認農		茶	179 a	茶	215 a	牧之原
認農		茶・水稻・レタス	68 a	茶・水稻・レタス	75 a	牧之原
認農		茶	125 a	茶	150 a	牧之原
認農		茶・水稻・みかん	70 a	茶・水稻・みかん	77 a	牧之原
認農		茶・自然薯	55 a	茶・自然薯	61 a	牧之原
認農		茶・水稻	72 a	茶・水稻	86 a	牧之原
認農		茶・レタス・水稻	125 a	茶・レタス・水稻	138 a	牧之原
認農		茶	282 a	茶	338 a	牧之原
認農		茶	325 a	茶	358 a	牧之原
認農		茶・レタス・水稻	97 a	茶・レタス・水稻	107 a	牧之原
認農		茶・イチゴ	395 a	茶・イチゴ	474 a	牧之原
認農法		茶・とうもろこし	75 a	茶・とうもろこし	83 a	牧之原
認農法		ねぎ・オリーブ	158 a	ねぎ・オリーブ	158 a	牧之原
認農		茶	84 a	茶	92 a	牧之原
認農法		茶	196 a	茶	235 a	牧之原
到達		茶(共同)	174 a	茶(共同)	191 a	牧之原
到達		茶	426 a	茶	469 a	牧之原
到達		茶	153 a	茶	168 a	牧之原
到達		茶(自園自製)	109 a	茶(自園自製)	131 a	牧之原
到達		茶・水稻	73 a	茶・水稻	88 a	牧之原

到達		茶・ミシマサイコ	135 a	茶・ミシマサイコ	162 a	牧之原
到達		茶・水稻	109 a	茶・水稻	120 a	牧之原
到達		茶	404 a	茶	404 a	牧之原
到達		茶、自然薯	306 a	茶、自然薯	306 a	牧之原
到達		茶	22 a	茶	22 a	牧之原
到達		茶	177 a	茶	177 a	牧之原
到達		茶	369 a	茶	369 a	牧之原
到達		茶	296 a	茶	296 a	牧之原
到達		茶	197 a	茶	197 a	牧之原
到達		トマト	166 a	トマト	166 a	牧之原
到達		茶	250 a	茶	250 a	牧之原
到達		茶	168 a	茶	168 a	牧之原
到達		茶	261 a	茶	261 a	牧之原
到達		茶、イチジク	274 a	茶、イチジク	274 a	牧之原
到達		茶	255 a	茶	255 a	牧之原
到達		茶	299 a	茶	299 a	牧之原
到達		茶	179 a	茶	179 a	牧之原
到達		茶	332 a	茶	332 a	牧之原
到達		茶	210 a	茶	210 a	牧之原
到達		茶	202 a	茶	202 a	牧之原
到達		茶	155 a	茶	155 a	牧之原
到達		茶	229 a	茶	229 a	牧之原
到達		茶	180 a	茶	180 a	牧之原
到達		茶	170 a	茶	170 a	牧之原
到達		茶+レタス+水稻	89 a	茶+レタス+水稻	98 a	牧之原
到達		茶・水稻	151 a	茶・水稻	166 a	牧之原
到達		茶(生葉売り)+水稻	92 a	茶(生葉売り)+水稻	101 a	牧之原
到達		茶(自園自製)+みかん	97 a	茶(自園自製)+みかん	107 a	牧之原
到達		茶(自園自製)	75 a	茶(自園自製)	83 a	牧之原
到達		施設花卉(バラ)	120 a	施設花卉(バラ)	132 a	牧之原
到達		茶	335 a	茶	402 a	牧之原
到達		茶・水稻	112 a	茶・水稻	134 a	牧之原
計	74人		15,854 a		17,342 a	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。